



2022年1月31日

2021年度（2022年3月期） 第3四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



I. 2021年度第3四半期 決算概要

- 全体概要
- グループ別
- 売上収益・営業利益 増減内訳
- 計画値との差異
- 通期見通し
- 海外地域別
- <参考> 業態別実績
- 3Qトピックス（DX分野、国内・国際事業、ESG取り組み）



火災発生に関するお知らせ（第九報）

1. 発生日時：2021年11月29日午前8時50分頃（2021年12月4日午後5時00分に鎮火）
2. 発生場所：施設名称：(株)日立物流西日本 舞洲営業所（GLP 舞洲Ⅱ）
所在地：大阪府大阪市此花区北港緑地 2-1-92
主な取扱品：医薬品、医療用品、食品、工具など
3. 発生原因：火災発生原因は、消防・警察の調査中。(株)日立物流西日本が契約している、人材派遣会社の社員が放火した疑いにより、2022年1月15日に逮捕
4. 被害状況：人的被害／従業員は全員の無事を確認
焼損面積／総延床面積約 53,000 m²のうち、約38,700 m²を焼損
5. 出荷等への影響：当社周辺事業所及び他地域にて代替拠点の確保とオペレーションを継続

皆様には多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。



I .2021年度第3 四半期 決算概要



2021年度第3四半期 決算概要

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2020年度		2021年度				
	第3四半期累計		第3四半期累計			通期	
	実績	実績	前年同期比		予想 (1.31公表)	前年比	
			比率	増減			
売上収益	4,745	5,514	116%	+769	7,200	110%	
営業利益 [※]	<5.6> 265.8	<5.3> 292.5	110%	+26.8	<5.2> 375.0	102%	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<7.3> 346.2	<4.8> 266.5	77%	▲79.7	< - >	-	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<3.9> 187.4	<2.4> 130.5	70%	▲56.8	< - >	-	

※ 本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

<当初計画からの増減>
売上収益 : +300億円
営業利益 : ±0.0億円

2021年11月29日に当社グループ会社(株)日立物流西日本の物流センターにて発生した火災により、売上収益、営業利益以外の項目は、現時点において合理的に算定することが困難なため、未定としております。



2021年度第3四半期 決算概要 (グループ別)

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は増減差)

		売上収益			営業利益	
		第3四半期累計	前年同期比	第3四半期累計	前年同期比	
オーガニック	国内物流	<56> 2,746	100%	176.0	100%	
	国際物流	海外	<35> 1,700	151%	83.7	133%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<7> 336	156%	10.0	330%
	計	<42> 2,036	152%	93.7	142%	
	その他(物流周辺事業等)	<2> 109	92%	10.0	107%	
計	<100> 4,891	116%	279.7	111%		
バンテックグループ	国内物流	<62> 416	106%	15.6	100%	
	国際物流 (海外)	<38> 258	123%	3.7	94%	
	計	<100> 674	112%	19.3	99%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		- ▲ 51	(+22)	▲ 6.4	(▲1.3)	
合計	国内物流	<57> 3,139	100%	185.2	100%	
	国際物流	海外	<35> 1,953	149%	87.3	129%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<6> 324	166%	10.0	330%
	計	41% 2,277	+10% 151%	33% 97.3	+7% 137%	
	その他(物流周辺事業等)	<2> 98	89%	10.0	107%	
計	<100> 5,514	116%	292.5	110%		

内は国際物流比率



2021年度第3四半期 決算概要 (売上収益増減内訳)

売上収益実績

(億円)

- ・受託領域拡大 : +75億
- ・顧客物量増減他 : +424億
(新型コロナ影響含む)

環境変化・
物量増減他
+499

20/3Q累計→21/3Q累計

- ・USD: ¥106 → ¥111
- ・EUR: ¥122 → ¥131
- ・CNY: ¥15.4 → ¥17.3

為替影響
+130

ポートフォリオ
戦略実行
▲31

新規受注
+140

- ・国内 : +54億
- ・国際 : +85億

協創新規
+31

+171

5,514

4,745

+769

項目	環境変化・物量増減他			為替影響	ポートフォリオ戦略実行	新規受注	協創新規	計
	受託領域拡大	顧客物量増減他 (新型コロナ影響含む)	小計					
国内	66	▲122	▲56		▲7	54	20	11
国際	9	559	569	130	▲24	85	9	770
その他		▲13	▲13				1	▲12
計	75	424	499	130	▲31	140	31	769

2020年度3Q累計(実績)

2021年度3Q累計(実績)

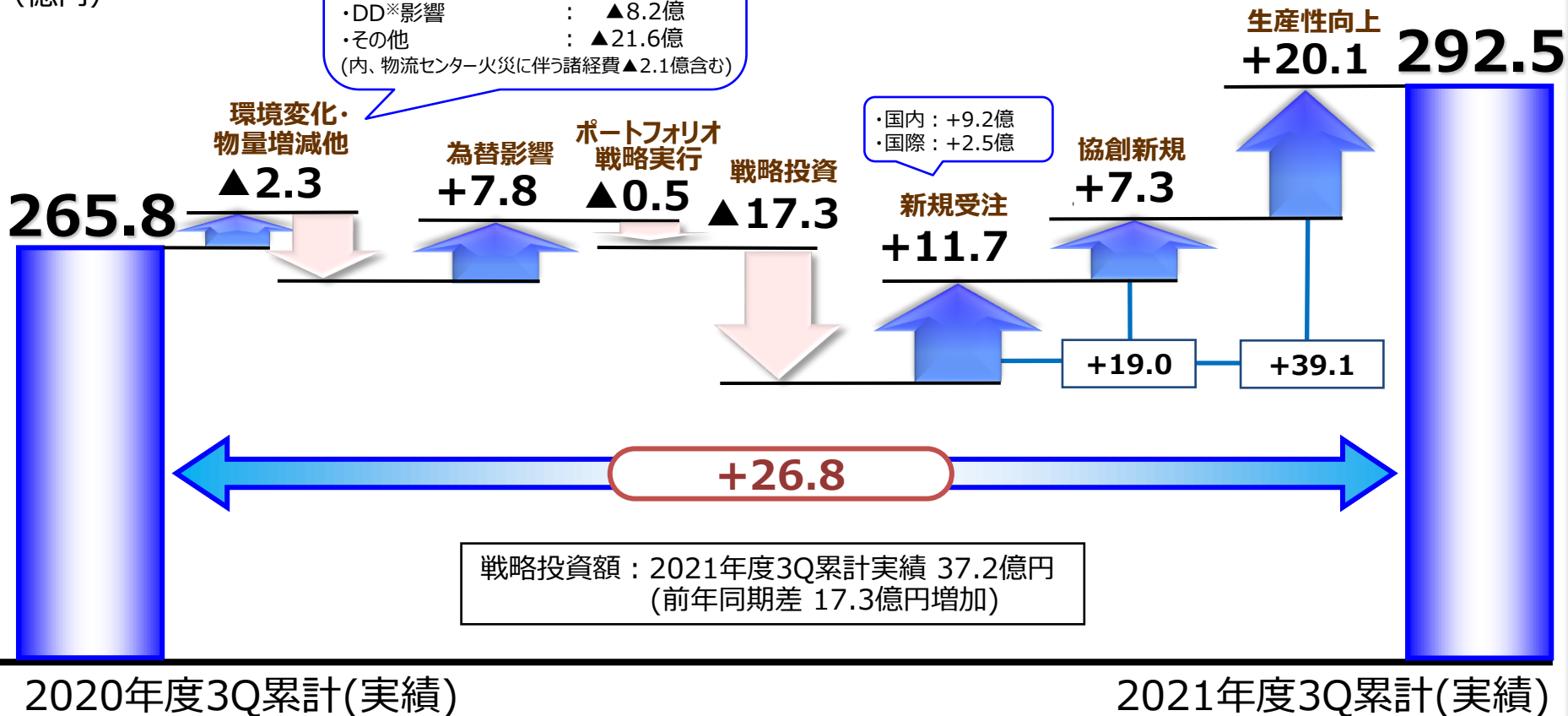


2021年度第3四半期 決算概要 (営業利益増減内訳)

営業利益実績

(億円)

- ・受託領域拡大 : +5.9億
- ・顧客物量増減他 : +30.8億
(新型コロナ影響含む)
- ・(物量回復に伴う)コスト増 : ▲9.0億
- ・DD※影響 : ▲8.2億
- ・その他 : ▲21.6億
(内、物流センター火災に伴う諸経費▲2.1億含む)

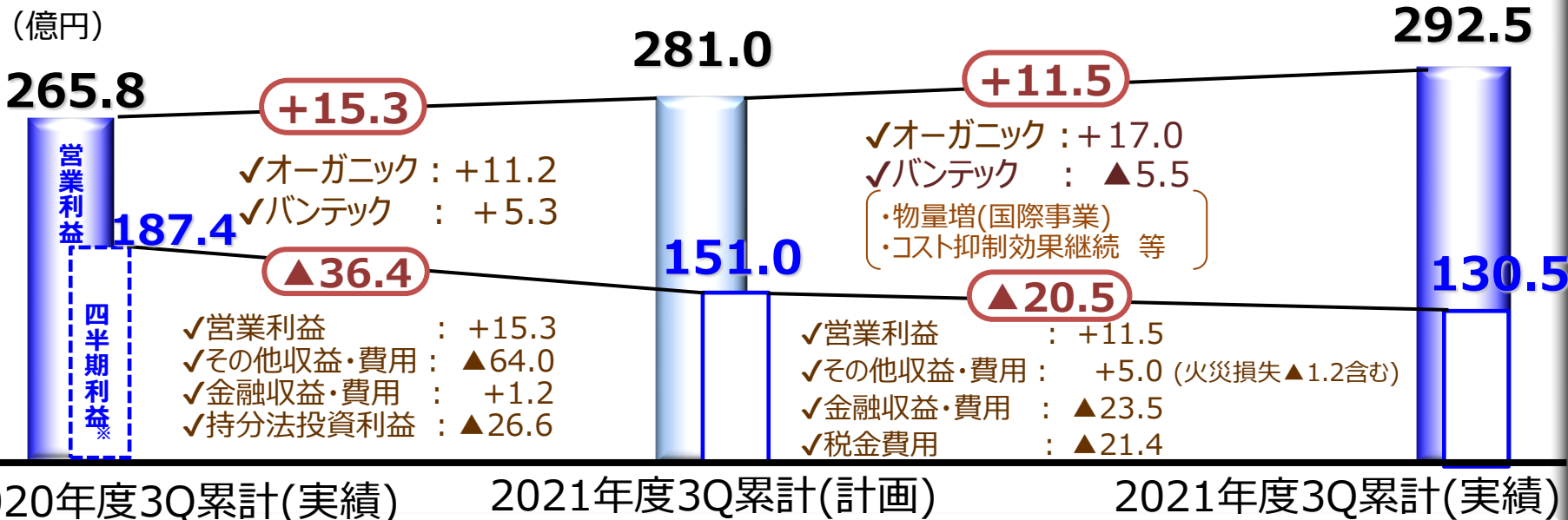


※DD : 同一労働同一賃金の略

[売上収益] 計画5,160億円→実績5,514億円(+354億円)
 [営業利益] 計画281.0億円→実績292.5億円(+11.5億円)

国際物流の物量増により
計画を上振れ

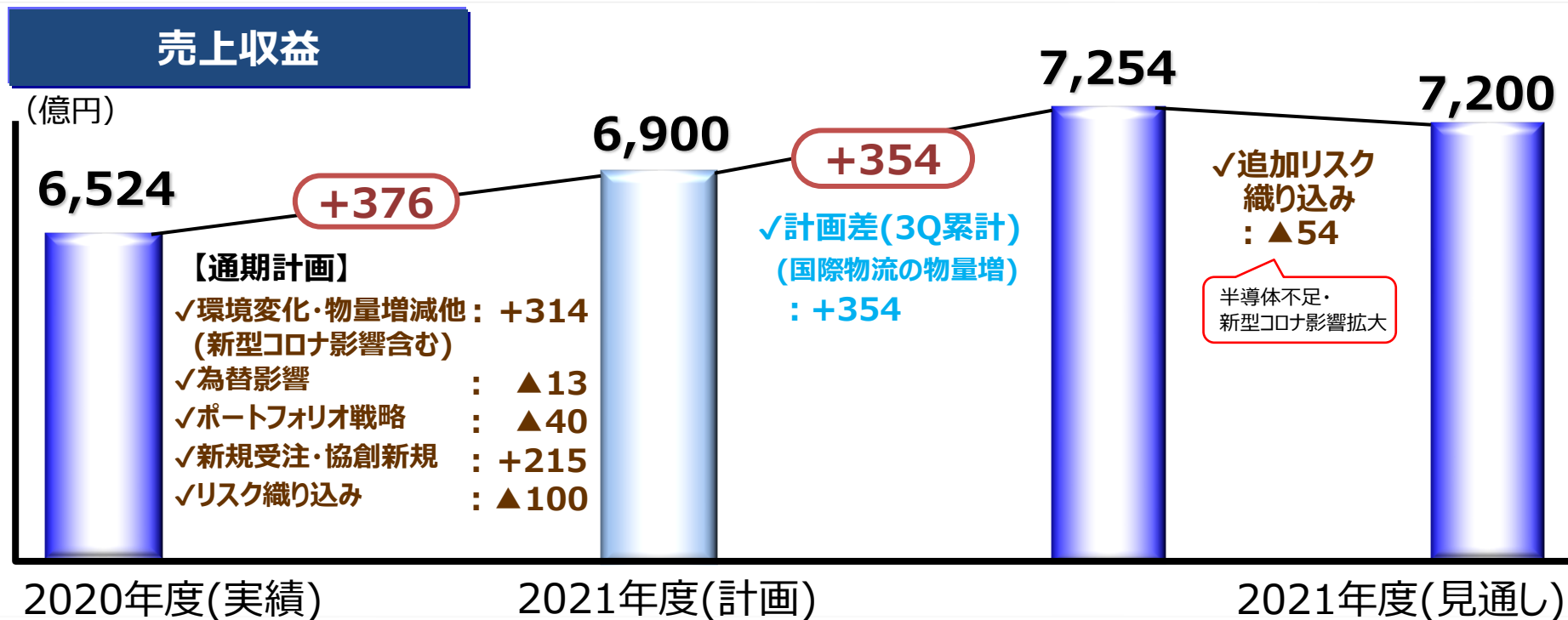
営業利益・四半期利益の差異



※親会社株主に帰属する四半期利益

- ・3Q累計(実績) : 国際物流の物量増により上振れて推移(計画差+354億円)
- ・通期(見通し) : 計画上振れ及び各種事業リスク(半導体不足・新型コロナ影響拡大)を踏まえ、通期計画を上方修正

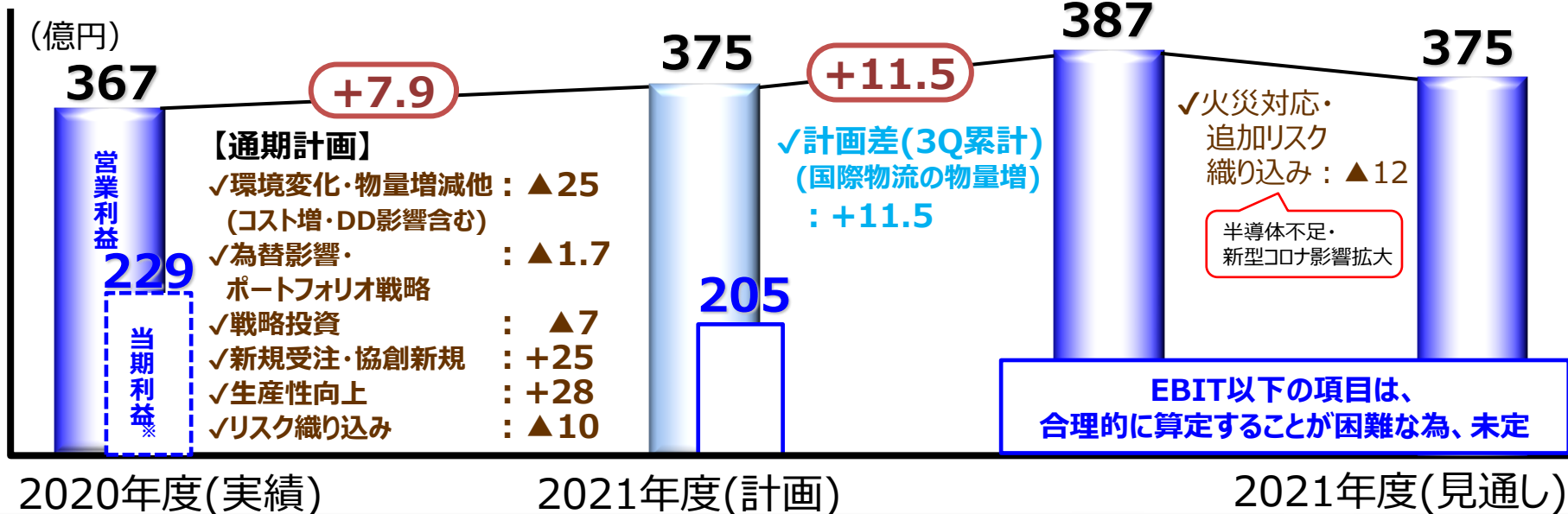
売上収益



2021年度通期見通し (営業利益・当期利益)

- ・3Q累計(実績) : 物流センター火災に伴う諸経費(▲2.1億円)他を計上するものの、国際物流の物量増により上振れて推移(計画差+11.5億円)
- ・通期(見通し) : 当該火災に伴う追加経費および各種事業リスク(半導体不足・新型コロナ影響拡大)を踏まえ通期計画は変更無し

営業利益・当期利益





2021年度第3四半期 決算概要（海外地域別）

（単位：億円、端数四捨五入、＜ ＞内は利益率(%)、()内は増減差）

	売上収益			営業利益		
	2020年度	2021年度		2020年度	2021年度	
	第3四半期累計	第3四半期累計	前年同期比	第3四半期累計	第3四半期累計	前年同期比
北米	291	421	144%	8.0	9.8	122%
欧州 [※]	453	625	138%	32.3	37.3	116%
アジア(中国除く)	263	405	154%	11.1	23.4	211%
中国	297	467	157%	17.7	21.8	123%
オセアニア他	35	40	114%	3.8	2.7	70%
連結消去等	▲ 28	▲ 5	(+22) 億円	▲ 5.1	▲ 7.7	(▲2.6) 億円
計	1,311	1,953	149%	<5.2%> 67.8	<4.5%> 87.3	129%

※ トルコは欧州に含む



<参考> 2021年度第3四半期決算概要 (業態別)

参考資料 業態別実績 (概算値)

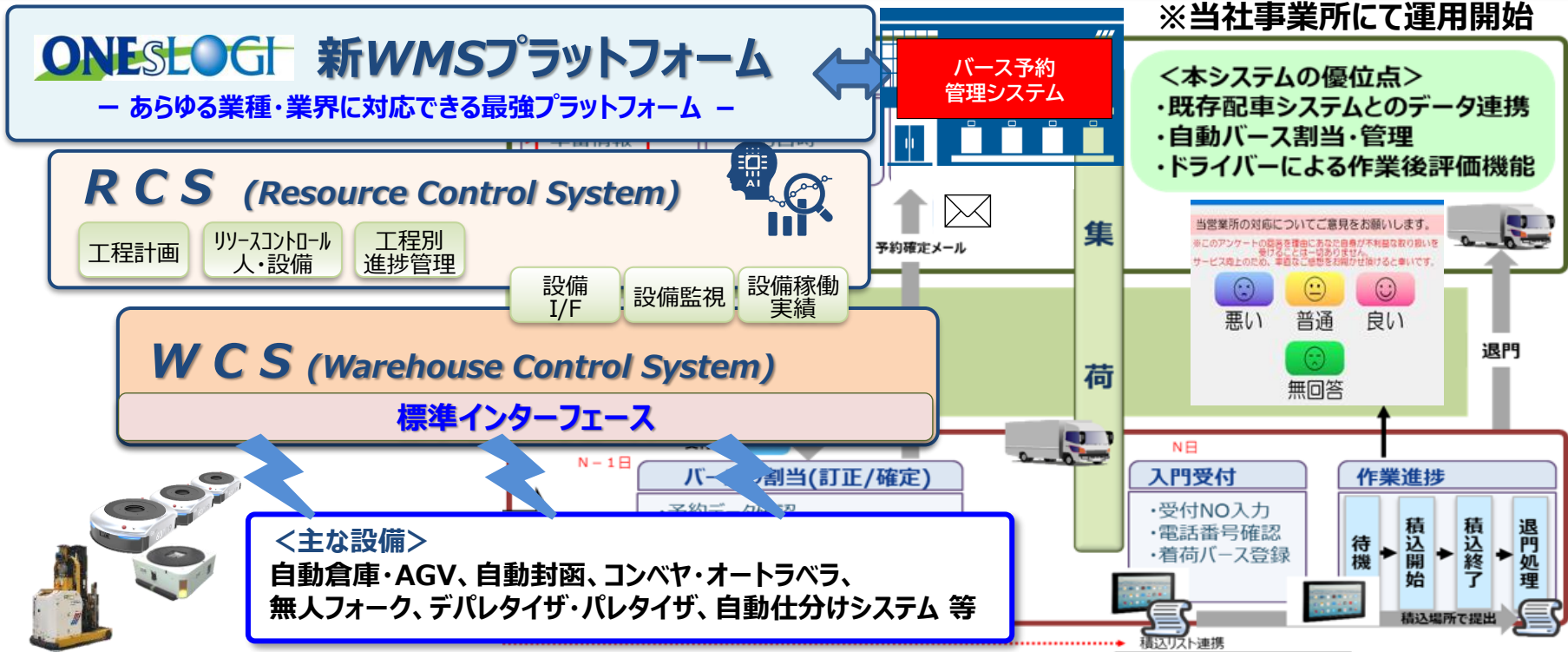
(単位：億円)

	2020年度 第3四半期累計			2021年度 第3四半期累計		
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
国内	2,748	173.9	6.3% (6.4%)	2,758	177.0	6.4% (6.5%)
海外	554	38.9	7.0% (7.5%)	684	41.3	6.0% (6.5%)
3PL	3,302	212.8	6.4% (6.6%)	3,442	218.3	6.3% (6.5%)
国内	196	2.6	1.3% (3.0%)	323	9.5	2.9% (4.0%)
海外	476	18.3	3.8% (4.2%)	905	41.0	4.5% (4.7%)
フォワーディング	673	20.8	3.1% (3.9%)	1,228	50.5	4.1% (4.5%)
国内	383	9.4	2.4% (4.1%)	387	6.9	1.8% (3.5%)
海外	276	11.2	4.1% (4.2%)	360	4.3	1.2% (1.3%)
オート	659	20.6	3.1% (4.1%)	746	11.2	1.5% (2.4%)
その他サービス	111	11.6	10.4% (10.4%)	98	12.6	12.8% (12.8%)
合計	4,745	265.7	5.6%	5,514	292.5	5.3%

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く



WMS※とトラックバス予約管理システムの連動



<主な設備>
 自動倉庫・AGV、自動封函、コンベヤ・オートラベラ、
 無人フォーク、デパレタイザ・パレタイザ、自動仕分けシステム 等

- ✓WMSプラットフォームとRCSのシステム連携
- ✓バス予約管理システムの開発・導入で、ホワイト物流対応とCO₂削減に貢献

※ Warehouse Management System

国内拠点の拡充

【化粧品物流の強化】

■ 新工場への資材供給(調達物流)



名称:猪名川資材センター
所在地:兵庫県猪名川町
延床面積:約25,000㎡
取扱品目:ラベル、容器等
稼働日:2021年11月

■ 「危険物倉庫」新設



名称 :大津物流センター
所在地:滋賀県大津市
延床面積:約2,100㎡
取扱品目:化粧品
稼働日:2022年1月

【協創活動(共同提案)の継続実施】

■ 顧客EC対応の部用品センター運営を受注



名称:パーツセンター
所在地:兵庫県神戸市
延床面積:約5,100㎡
取扱品目:バイク部用品
稼働日:2022年1月
特長:顧客のBtoC販路拡大

<参考> 2021年度3Q累計 協創新規寄与分 (億円)

	売上収益	営業利益
国内	20	5.4
国際	9	1.9
その他	1	0.1
協創効果	31	7.3

北米における取り組み

【顧客(建設機械)保守部品センター運営を受注】

中国（上海）

- 面積：約28,000㎡
- 稼働：2015年5月



日本（茨城）

- 面積：約69,000㎡
- 稼働：2014年4月



シンガポール

- 面積：約15,000㎡
- 稼働：2019年4月



米国（アトランタ）

- 面積：約31,000㎡
- 稼働：2022年3月(予定)



アトランタ
顧客工場



- 顧客の事業戦略に合わせた大型拠点の新設
- 北米から中南米までをカバーし、顧客の事業拡大に貢献
- 日本他での運営実績に基づき、保守部品特性に合わせたレイアウト・運用設計

CDP気候変動レポート評価獲得 (2年連続) (2021年12月)

- CDP気候変動レポート2021で、
"リーダーシップレベル"「A-(Aマイナス)」評価を獲得
- 評価項目:気候変動や水セキュリティなどに対する
企業の取組みをグローバルに評価
- 評価ランク:8段階<最高位(A)~最低位(D-)>
- 「A-」評価の日本企業は104社
※陸運業で「A-」以上の評価は当社含め2社

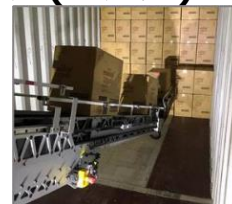


(国交省)令和3年度グリーン物流パートナーシップ 優良事業者表彰「物流DX・標準化表彰」を受賞 (2021年12月)

- 事業名:海上コンテナ転用による資材国内輸送と
同一コンテナでの製品輸出
~労働力不足解消・労働環境改善に寄与する
バンニングマシン導入によるバラ積み作業の自動化~
- 事業者:ユニ・チャームプロダクツ(株)、住友精化(株)、
井本商運(株)、(株)日立物流、(株)バンテック

【事業の特徴】

- ・海上輸送用コンテナを国内トラック輸送に活用(九州発)
- ・長距離陸送から内航船へのモーダルシフト
- ・自動バンニングマシンの活用



【改善効果】

- ・CO₂排出量:61%削減・作業時間:874.5人時/年 削減
- ・トラック運行数:50%削減・ドライバー運転時間:59%削減



2022年1月31日

2021年度（2022年3月期） 第3四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



物流は新領域へ

LOGISTEED